

授 業 名	音 声 障 害	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年 (前 期)
担 当 教 員 名	島 本 裕 士	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 音声障害に対する医師と言語聴覚士の役割を知る。 原因疾患や病態を知り、適切な評価・訓練法を学習する。</p> <p>〔学習目標〕 疾患の理解・評価・訓練法の習得を目標とする。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	p3 オリエンテーション・音声障害とは		
第 2 回	p5 音声障害の分類 器質性・神経学的・機能的		
第 3 回	p9 音声治療の流れ		
第 4 回	p11 評価と訓練総論		
第 5 回	p16 症状対処的音声治療①		
第 6 回	症状対処的音声治療②		
第 7 回	症状対処的音声治療③		
第 8 回	p24 包括的音声治療①		
第 9 回	包括的音声治療②		
第 10 回	包括的音声治療③		
第 11 回	p34 心因性発声障害・無喉頭音声治療と訓練・ディサースリアと音声治療①		
第 12 回	心因性発声障害・無喉頭音声治療と訓練・ディサースリアと音声治療②		
第 13 回	p41 国家試験を解く		
第 14 回	p43 グループワークー問題作成ー①		
第 15 回	グループワークー問題作成ー②		
評 価 方 法	定期試験で評価します(100%)。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 適宜、資料配布します</p> <p>〔参考図書〕 STのための音声障害診療マニュアル(インテルナ出版) 音声障害(言語聴覚療法シリーズ)(建帛社)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	配布資料は 1 冊にまとめ、シラバスにページ番号を記載した		
メ ッ セ ー ジ	疾患・評価・訓練・国家試験と幅広く行うので、耳鼻咽喉科学や運動障害性構音障害の復習が望ましい。		